東芝・デバイス新会社

パワー半導体に注力

2600億円投じ能力増強

東芝は、本社を2分割する計画での事業戦略を発表し、デバイス事業の新会社では需要拡大が見込まれるパワー半導体に注力する考えを示した。2025年度までに2600億円を投じ、シリコンパワー半導体の能力増強や化合物半導体の生産ラインを整備する。研究開発費には3100億円を投資。パワー半導体のラインアップ拡充などを進める。自動車の電動化やカーボンニュートラルで高まるパワー半導体のニーズに対応する。

デバイス新会社は半導体事業とストレージ事業などを担う。同社によれば、電圧の供給・制御に使うパワー半導体市場の成長率は21―25年に年平均7％に達する見通し。金額ベースでは、25年に21年比3割増の340億㌦に増えるという。特に車載用と産業用がけん引するとの見方だ。

パワー半導体の生産能力は、最終的に21年度比3・5倍とする。石川県のグループ会社の加賀東芝エレクトロニクスに新製造棟を建設し、1期として24年度までに21年度比2・5倍に引き上げると決定。さらに需要に応じて2期ある増強を実行すれば3・5倍に達する。既存棟のライン増強も稼働開始を23年度上期から22年度下期に早める。

直径300㍉ウエハーラインを中心に増強し、低耐圧MOSFET（金属酸化膜半導体電界効果トランジスタ）やIGBT（絶縁ゲートバイポーラートランジスタ）などの供給能力を高める。EV（電気自動車）の普及や産業機器の自動化などで高まるパワー半導体需要に対応する。

次世代パワー半導体であるSiC（炭化ケイ素）やGaN（窒化ガリウム）の能力増強や大口径化も加速させる。現在主流のシリコンでは、耐圧と低損失（低い導通損失・スイッチング損失）を高水準で両立することが難しく、SiCなど化合物半導体の活用が期待されている。

EVの普及により、現在主流の150㍉基板より大口径の、200㍉基板の量産が進むと見込んだ。傘下となるニューフレアテクノロジーはSiCやGaNのエピタキシャル成長装置を手掛けており、エピ装置を活用するなどシナジーを発揮。次世代パワー半導体の大口径化を推進し、収益力の向上を図る。

ストレージ事業ではオンラインとオフラインの中間で大容量データ保管に優れた「ニアライン」HDD（ハードディスクドライブ）の生産能力を、25年度までに20年度比2倍に高める。フィリピンの生産拠点を増強しつつ、中国に第二拠点を設置する。次世代アシスト記録など新機種開発も推進、データ社会の進展に応える。

水溶性崩壊錠で除菌洗浄可能に

古河産業が製品化

古河産業はこのほど、日本抗菌総合研究所（本社＝奈良市、富士野彪宏社長）と「水溶性崩壊錠」の技術を応用したビールサーバーの除菌洗浄技術の製品化を進めていると発表した。水通し洗浄に除菌や抗菌、消臭といった機能を持たせた錠剤を1粒入れるだけで、ビール経路管（ホース）の有害物質や細菌、臭いを分解・除去。従来の洗浄では得られなかった高い除菌効果や安全性の確保、ビール本来の香りや味の維持が可能になる。

水溶性崩壊錠はあらゆる粉末を錠剤化し、水で崩壊させる技術で、日本抗菌総合研究所が特許を持つ。食品添加物の規格に適合した原材料を用いることで安全性を確保し、計量不要、小型化による包装資材や保管場所の削減、粉飛がないことによる人体への吸入や設備に影響を及ぼさないことが特長。一般消費者向け製品から業務用まで、さまざまな分野での実用化が期待されている。

「大田の工匠」に昭光機器工業

昭和電線HD

昭和電線ホールディングスは、小会社の昭光機器工業（本社＝東京都大田区、土屋裕二社長）が2021年度「大田の工匠」技術・技能継承（大田区など主催）の受賞企業として表彰されたと発表した。適用素材（難加工の銅素材など）の最適化やマシニングセンタ（NC）旋盤に関する加工技術・技能継承の取り組みが評価された。

昭光機器工業は1967年に設立。送配電に使われる電力ケーブル用付属品や受変電設備の電力機器部品の機械加工、特殊船舶などの制御盤の板金加工を行う。

大田の工匠は、企業内や企業間で行われる実務指導者（師匠）と若手技能者（弟子）の技術・技能継承の優れた取り組みを表彰するもので、大田区内で製造業を営む中小企業を対象に2017年度から行われている。

アルミ原料

上物10―20円上げ

関西、2月後半買値

2月後半の関西のアルミニ次合金メーカー各社のスクラップ購入価格は、ウワ物はキロ10―20円、スソ物は横ばいから品種によっては15円切り上がった。ウワ物は、指標となるLMEアルミ相場がトン3200―3300㌦と2008年以来の高値を付け、軽圧メーカーのスクラップ購入価格が上昇しており、二次合金メーカー各社も高値に追随した。メーカーによっては買値を最大キロ20円切り上げており、Aサッシは高値が300円台に乗った。二次合金メーカーは自動車メーカーの減産に次ぐ減産で製品販売が不調だが、スクラップの市中発生が低調のため買値を上げて一定数量の確保を進めている。

スソ物は、LME高やロシア産再生塊ベースのオファー価格上昇を受けて、機械コロ系が最大15円上伸した。二次合金メーカーによっては東西で製品需要に差が拡がっており、東日本で原料購買量を抑え、生産調整する動きもある。

使用済みアルミ缶（UBC）は、LME高と円安で韓国向けの輸出採算価格やアルミ缶再生地金（RSI）価格が上昇し、各社、買値を5―15円切り上げた。市中では、RSIメーカーが高値を提示して買い進めており、プレス品の買値は230―240円と4カ月ぶりの高値を付けた。

光産業技術シンポ開く

最新の研究事例発表

生活との関係性も

光産業技術振興協会（OITDA）と技術

みなどが発表された

ヒーレントトランシーバーへの取り組み」と題した講演では、PETRA異種

関西非鉄リ協組セミナー

全国から80人参加

関西非鉄リサイクル協同組合は16日、オンラインセミナーを開催し、全国の会員80人が参加した。冒頭で橋本健一郎理事長（橋本アルミ取締役）が「当初は対面での開催を予定していたが新型コロナの感染拡大を受けて、他地区の組合の協力を得ながらオンラインでの開催となった。今日の講演を日々の仕事に役立ててほしい」とあいさつした。

セミナーで、パナソニックオペレーショナルエクセレンス社グロ

技術を利用したシリコンプラットフォーム上に大規模光集積回路と隣接するエレクトロニクスを統合設計することで、これまでにない消費電力と速度の改善を挙げた。一方で操作時の通信回線の途切れや時間的な遅延といった課題などにも触れた「シンポジウムが出席の方々の研究、事業に役に立てば」と願い、

1バル調達本部の藤原健課長が「2022年のメタル市況の現状と展望」の題で講演。今年は、インフレと金融引き締めの綱引き、産業資材・金融資産としてのメタルの駆け引きが市況の中心構図になるとし、「物価の安定を強く志向し、実力行使できる中国の存在にも注視が必要」と警鐘した。

新型コロナが金属市場に与えた影響については、「構造的にサービスではなくモノの需要を拡大させながら供給を減少させる需給ギャップの発生要因」と指摘した。

今後の相場は、「金融緩和で上げた相場は金融引き締めで終わるのが道理。ただ、足元の上げ相場が一服し一時的に反落しても、脱炭素による実需の上げ相場のトレンドに移行する可能性はある」とし、今年のLME銅相場のレンジはトン7900―1万1000㌦を予想した。

12月エクステリア製品出荷

3カ月ぶり減少

エクステリア製品の出荷は3カ月ぶりに前年を下回った。日本エクステリア工業会が発表した昨年12月の製品出荷統計表によると、

出荷額は11分野総計で前年同月比0・8％減の206億円と微減した。「笠木・手すり」や「テラス」が減少したものの、「フェンス」や「カーポート」は9・3％増の57億円。材種別では、「形材」が2・7％増の45億円と増加した一方、「鋳物」は11・1％減の6000万円、「スチール他」も2・8％減の12億円と減少した。

「カーポート」は9・5％増の48億円。「片流れ」両支持「その他」はいずれも前年同月を上回った。シャッターや機能門柱など「門扉」は0・9％増の23億円だった。

そのほか「ポスト・照明・その他「パブリックエクステリア」が増加した。一方で、「テラス」は9・5％減の21億円、「笠木・手すり」は22・3％減の9億円と大きく減少した。

11分野を2区分した「ガーデンエクステリア」門扉、フェンス、カーポート、合成木材デッキ、ポスト、照明）は3・7％増の152億円、「ウォールエクステリア」（テラス、パルコニー、サンルーム・風除室、笠木・手すり、スクリーン）は15・9％減の38億円となった。

日刊産業新聞
LINE公式アカウント
はじめました
ニュース速報を
配信しています
友達登録お願いします

特金スクラップ相場

（キロ当たり円）

	2月2週	2月3週
ニッケルしゃぶり	2055	2055
〃　新切れ	2055	2055
PC―2(Ni78%)	1670	1670
PB(Ni45%)	820	820
42アロイ(Ni42%)	770	770
36アンバー(Ni36%)	660	660
ニクロム(NCH―1)	1240	1240
パイメタル(Ni30%)	660	660
インコネル（600）	1295	1295
モネル（405）	1000	1000
キュプロ・ニッケル(Ni30%)	700	700
コバール	755	755
ステライト(Co50%)	470	470
モリブデン新切れ(一般品)	2580	2580
ハステロイ(A)	1835	1835
タングステン新切れ(一般品)	2430	2430
ハイス(SKH―9)	305	305
耐熱鋼(SCH―13)	235	235
〃　(SCH―21)	375	375
純チタン新切れ（一般品）	180	180
チタン合金（6Al―4V）	85	85
雑チタンくず	50	50

（都内問屋持ち込み価格、現金、N＝ノミナル）

希土類（レアアース）価格

（CIF日本、純分99%、キロ当たりドル）

	2月17日	1月平均
酸化ランタン	2.00	2.00
酸化セリウム	2.00	2.00
酸化プラセオジム	143.50	142.79
酸化ネオジム	167.00	143.43
酸化サマリウム	5.03	4.93
酸化ユウロピウム	33.00	33.00
酸化テルビウム	2155.50	1729.89
酸化ジスプロシウム	475.50	447.50
酸化イットリウム	14.50	10.57
金属ネオジム	203.00	177.94
金属ジスプロシウム	590.00	568.00
金属プラセオジム・ネオジム	183.00	164.39

人事異動

（4月1日付）

▽西日本営業部長（東日

マレーシア	6,780	8,783	54,500	66,369	▽その他銅合金					韓国	25,280	99,975	259,265	837,119
インド	44,202	55,746	451,516	515,457	合計	817,201	802,560	6,183,995	5,534,378	中国	135,650	269,895	1,464,444	2,582,002
イタリア	—	—	71,275	71,081	韓国	444,901	430,558	3,134,110	2,769,231	台湾	35,114	113,189	596,301	1,928,876
フィンランド	—	—	566	735	中国	305,762	308,024	2,416,518	2,228,669	香港	200	516	84,357	104,818
米国	36,918	43,620	721,996	767,463	台湾	40,536	35,700	298,638	228,359	ベトナム	19,248	37,790	161,955	299,851
▽その他精製銅					ベトナム	—	—	70,807	63,500	タイ	26,415	37,545	510,648	747,915
合計	3,409,112	3,842,283	32,747,248	33,441,648	タイ	—	—	19,000	21,714	シンガポール	5,810	9,379	278,970	414,472
韓国	636,315	720,019	5,450,742	5,707,620	マレーシア	—	—	21,456	19,655	マレーシア	—	—	67,230	111,221
中国	323,077	321,967	3,391,411	3,056,215	フィリピン	20,002	20,478	210,308	178,144	フィリピン	—	—	30,020	54,997
台湾	1,676,508	1,925,833	18,114,361	18,713,208	インドネシア	—	—	374	1,978	インドネシア	19,041	30,182	332,342	487,382